

Kenren No.79 kanon

神奈川県
合唱連盟
機関情報誌

2012 年秋号

発行:2012.10.10

第 55 回神奈川県合唱祭

神奈川県合唱祭実行委員会
副実行委員長 草道祥子

神奈川県合唱連盟の最大の行事「第 55 回神奈川県合唱祭」が、6 月 9 日（土）・10 日（日）・23 日（土）・24 日（日）の 4 日間にわたり、神奈川県立音楽堂にて開催されました。講師に、伊集院俊光・梅山登・奥山恵美子・田中登志生・上田真樹・野本立人の先生方をお招きし、4 日間で 170 団体、約 4,800 名が素敵な歌声をホールいっぱい響かせました。恒例となったコスチュームファッションショーを始め、今年は篠笛と和太鼓のゲスト演奏もあり楽しい合唱祭となりました。



さあ、皆で連盟歌だ！

★ 9 日：コスチュームファッションショー

すっかりお馴染みになった人気のコーナーです。モデル応募者がとても多く、残念ながら今年はお断りさせていただいた方もあったほど。橋本麻子さんの BGM に合わせ、モデルウォークもさながらに、最新作の色とりどりの素敵なドレスを身にまとったモデルさんが、パフォーマンスをまじえながら登場。ほどがや青少年少女合唱団のかわいいモデルさんたちも、元気な歌声とともにステージに花を添えてくださいました。さあ！来年こそはあなたもモデルデビューですよ！！

★ 10 日：特別演奏

村山二郎さんの篠笛と東京打撃団による和太鼓の共演ステージ。会場内は水を打ったような静寂と緊張感に包まれました。心に染み渡る篠笛の音色と、一糸乱れぬ息の合った和太鼓の迫力、そして躍動感に、会場からは感動のため息が何度も聞こえてきました。日本人の伝統と感性の中に現代的な感覚が加わり、新感覚の伝統芸術に触れることができました。まさに魂を揺さぶられる熱い熱いステージとなりました。



村山二郎さんの篠笛と
東京打撃団による和太鼓

★ 10 日：パフォーマンスコーナー

高校生の皆さんの若さあふれる楽しいステージ。一緒に口ずさみたくくなりますね。今年は客席でご覧になった皆様も、是非このステージであなたらしいパフォーマンスをなさってみては！？

★ 23 日：公開レッスン

野本立人先生による公開レッスン。横浜市立六角橋中学校と藤沢市立滝の沢中学校合唱部の生徒さんが合同でレッスンを受けました。曲目は、今年度の NHK 全国学校音楽コンクール中学校部門の課題曲「fight (ファイト)」でした。この課題曲の初演指揮者でもいらっしゃる、やさしく楽しい野本先生



野本立人先生

のご指導に、ぐいぐい引き込まれ、最初は緊張気味だった生徒たちの表情も、レッスンが進むにつれ少しずつほぐれ、思わず時の経つことを忘れてしまうほどの楽しくて充実した公開レッスンとなりました。



野本立人先生によるレッスン風景

★ 23 日：中学・高校合同合唱

県内の 210 名の中学・高校生が集い、昨年に引き続き、平井保先生の熱心なご指導、指揮のもと、爽やかな印象の曲「朝の光に」(神奈川県合唱連盟 連盟歌)と「竹のように」(信長貴富作曲)を演奏いたしました。若さとパワー溢れる中・高生の歌声は、とても清々しく、力強く、会場は大きな感動に包まれました。

★ 24 日：ジュニア合同合唱

ジュニア合同ステージには 8 団体から約 120 名の子供たちが参加しました。大塚誠一、福田美知子、藤原規生の諸先生方による指揮で、4 月 1 日のジュニア合唱祭での合同合唱曲「そよ風は友だち」「朝の光に」「ねむの木震ふ」「白いうた青いうた」より「南からの人々」「二十歳」「壁きえた」の計 5 曲を声高らかに息ぴったり演奏をいたしました。演奏後のロビーでは、会場のお客様や出演された合唱団の皆様から、子供たちに温かいお褒めの言葉をたくさんかけていただきました。



子供たちの歌声が会場に広がる



上：じゃんけん大会で盛り上がる会場
下：じゃんけん大会の進行をする松村理事長(右)と和寺実行委員



最後に挨拶をする福田実行委員長

ひびき混声合唱団 第 13 回定期演奏会
 ～日本大学生物資源科学部 Chorus group'Ondine'OB・OG 合唱団を迎えて～

Missa Brevis (Palestrina)・鳥の歌 (ジャヌカン)

混声合唱のためのヒットメドレー HANA (三沢治美)

木 (信長貴富)・おわりのない海 (松下耕)

混声合唱組曲 未来への決意 (鈴木憲夫)

指揮：片野 秀俊 ピアノ：古川 佳園

2012 年 11 月 4 日 (日) 13:30 開場 14:00 開演
フィリアホール (東急田園都市線 青葉台駅)
 お問合せ：090-3425-2959 (村上) 入場料 2000 円 (全席自由)

広告御希望の方は、最終ページの「コンサートガイド掲載要綱」をご覧ください。

第 55 回神奈川県合唱コンクール開催

神奈川県合唱コンクール実行委員会
実行委員長 鈴木 行

連日の酷暑の中、平成 24 年 8 月 22 日(水)・同 9 月 2 日(日)の 2 日間にわたり、神奈川県立音楽堂において第 55 回神奈川県合唱コンクールが開催されました。

出演団体は 8 月 22 日開催時に中学校部門 14 団体、高等学校部門 18 団体、9 月 2 日開催時に大学部門 2 団体、職場部門 1 団体、一般部門 13 団体、シード 4 団体の合計 48 団体に出演して頂きました。これは対前年比 1 団体増で、3 大会振りに大学部門にエントリーがあった事と、新規加盟にて職場部門にエントリーがあったという 2 つの嬉しいニュースがあった為です。

神奈川県代表として関東大会に出場する方々の健闘を祈ります。なお、前年度と今年度は分離開催としていた神奈川県合唱コンクールですが、来年度は平成 25 年 8 月 31 日(土)・9 月 1 日(日)の連日開催となりますのでご注意ください。

加えて、来年から出演部門が変更されます。中学校・高等学校部門は従来どおりですが、大学・職場・一般部門について、従来までは 3 部門別々だったものを大学職場一般部門と名称を変えて 1 つの部門となり、その 1 つの部門が 4 つのカテゴリーに分けられます。詳しくは来年 4 月に配布予定の出演要項をご参照の上、皆様奮ってご参加下さる様お願い致します。

第 55 回 神奈川県合唱コンクール 第 1 日目審査結果

部門	出演順	団体名	賞	推薦 関東大会
中学同声	1	横浜市立豊田中学校合唱部	奨励賞	
	2	川崎市立菅中学校音楽部	銅賞	
	3	伊勢原市立成瀬中学校 コーラス部	奨励賞	
	4	海老名市立海西中学校合唱部	銀賞	
	5	日本女子大学附属中学校コーラスクラブ	銅賞	
	6	厚木市立南毛利中学校 合唱部	金賞	◎
	7	藤沢市立滝の沢中学校合唱部	銀賞	
	8	横浜市立早渕中学校 合唱部	銅賞	
	9	清泉女学院中学音楽部	金賞	◎
中学混声	10	横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉中学校	金賞	◎
	11	川崎市立白鳥中学校白鳥合唱団	銀賞	
	12	海老名市立海西中学校	銀賞	
	13	茅ヶ崎市立松林中学校合唱部	銅賞	
	14	横浜市立緑が丘中学校合唱部	金賞	◎
高校	15	県立多摩高等学校合唱部	金賞	
	16	北鎌倉女子学園コーラス部	金賞	◎
高校 A	17	日本女子大学附属高等学校コーラスクラブ	金賞	◎
	18	清泉女学院高校音楽部	金賞	◎
	19	県立弥栄高校合唱団	銀賞	
	20	桐蔭学園女子コーラス部	金賞	◎
	21	県立秦野総合高等学校合唱部	奨励賞	
	22	慶應義塾湘南藤沢中・高等部合唱部	銅賞	
	23	県立生田高校グリークラブ	銀賞	
	24	県立海老名高等学校合唱部	奨励賞	
	25	神奈川学園中学・高等学校女声合唱団	銀賞	
	26	相洋高校コーラス部	奨励賞	
	27	県立伊志田高校合唱部	銅賞	
	28	県立平塚湘風高等学校合唱部	奨励賞	
	29	桐蔭学園中学校・高等学校グリークラブ	銅賞	
	30	県立大船高校合唱部	銅賞	
	31	横浜英和女学院中学高等学校コーラス部	金賞	◎
	32	県立厚木商業高等学校音楽部	奨励賞	

第 55 回 神奈川県合唱コンクール 第 2 日目審査結果

部門	出演順	団体名	賞	推薦 関東大会
大学	1	東海大学文化部連合会グリークラブ	銀賞	◎
	2	神奈川大学混声合唱団クール・アンジェ	銀賞	
職場	3	テルモ男声合唱団	銀賞	◎
一般 B	4	緑フラウエンコール	金賞	◎
	5	湘南はまゆう	金賞	◎
	6	横浜ルミナス・コール	銅賞	
一般 A	7	TAMA STAR SINGERS	銀賞	
	8	ユース松林	銀賞	
	9	合唱団 VOCK	銅賞	
	10	アンサンブル Mora	銅賞	
	11	コール・キリエ	銀賞	
	12	Chor Mëlzel.	銅賞	
	13	かながわフリーダム・シンガーズ	金賞	
	14	La Pura Fuente	金賞	◎
	15	アンサンブル・ピノ	金賞	◎
	16	合唱団たまとも	銀賞	
シード	17	小田原少年少女合唱隊		◎
	18	富士通川崎合唱団		◎
	19	マルベリー・クワイア		◎
	20	マルベリー・チェンバークワイア		◎

最優秀

<二日間を通しての最優秀演奏団体>

清泉女学院中学音楽部

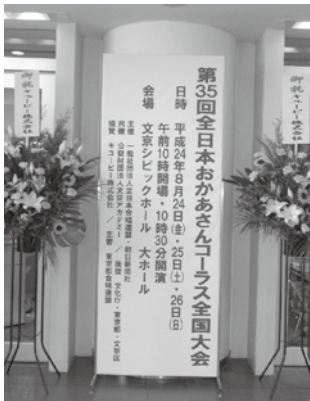
全日本合唱連盟理事長賞、神奈川県知事賞

「第35回全日本おかあさん コーラス全国大会」



4月21日(土)神奈川県立音楽堂で、「県大会」から始まった「第35回全日本おかあさんコーラス大会」。次は、関東支部大会へと進みます。

関東支部大会は、7月7日(土)・8日(日)静岡市民文化会館大ホールで関東支部9県(関東6県+山梨、静岡、新潟)93団体の参加で行われました。神奈川県勢は、県大会選考の上、推薦を受けた9団体^{SHO}が出場。そして、桐蔭学園「桐響会」、女声合唱団「松」、ラ・カンパネラ、湘南はまゆう、緑フラウエンコールが見事優秀賞を獲得、全国大会の出場権を得ました。Asian Winds、あんさんぶる”風雅”は優良賞でした。



そして、8月24日(金)・25日(土)・26日(日)「第35回全日本おかあさんコーラス全国大会」が東京文京シビックホール大ホールで91団体の参加で行われました。

神奈川県勢の活躍は素晴らしく、出演された5団体すべて「ひまわり賞」を獲得いたしました。

*「ひまわり賞」は、音楽性 創造性 独自性 楽しさなどを総合的に判断し、優秀団体として出演団体の約3分の1に贈られる賞です。

全国大会は、活気があります。観客で満席の会場。ロビーも壮観。着飾った出演団体が、次から次へと、繰り出します。舞台では熱演が繰り広げられ、美しいハーモニー、笑顔あふれるパフォーマンス。どの団体も聴きごたえあり、素晴らしかったです。

今回、それぞれの団から原稿をいただきました。ご覧ください。(以下全国大会出演順)

★桐蔭学園「桐響会」



横浜市にある桐蔭学園「桐響会」です。2008年前桐響会解散ののち、2009年5月再結成。桐蔭学園に通う生徒の母親を中心に、卒業後3年までの期限で在籍する、若さと向上心に溢れた団です。指揮者に松村努先生、ピアニストに織田祥代先生、ヴォイストレーナーに田中詩乃先生をお願いしています。おかあさんコーラス全国大会には、チャレンジ3度目の今年、念願の初出場。そしてひまわり賞をいただきました。大きな驚きと感動でした。でも、もっともっと上手になりたい!この恵まれた環境を最大限に活かせるよう、子どもたちに負けず、頑張ります。

(記：田辺道子さん)

★緑フラウエンコール



緑フラウエンコールはPTAコーラスでの約10年の活動後、1995年に一般合唱団として活動開始、18年目に入りました。松村努先生にPTAコーラス時代からご指導いただいています。おかあさんコーラスには2005年から出場し、全国大会は2回目でした。華やかな雰囲気の中、響きのよい素晴らしい文京シビックホールで気持ち良く演奏できた事、各地からの素敵な合唱団演奏を聴けた事、初めての「ひまわり賞」、記念品の瓶入りマヨネーズなど全て大切な宝物になりました。

転居で涙の別れをした元メンバーが転居先で入団した合唱団メンバーとして同じ日に出場し、喜びの再会ができたのも全国大会ならではの嬉しい事でした。

(記：和田直子さん)

★女声合唱団「松」^{SHO}

女声合唱団「松」は1994年3月に創団。おかあさんコーラス全国大会に2004、2008年と2回出場しています。その他の年も県大会や関東大会で賞を頂いています。しかし、昨年の神奈川県大会で初めて味わった無冠。自分達の歌に自信がもてなくなりました。そんな私達へ先生方からの心のこもった励ましを頂き、来年こそは…との思いを胸にみんなで練習してきました。今回、文京シビックホールで私達の歌声が響き渡った時の感動、そして念願のひまわり賞を受賞することができた喜びを糧にこれからも合唱を楽しみたいと思います。

(記：高田恵子さん)

★湘南はまゆう



湘南はまゆうは創立24年、全国大会出場は3回目になりました。おかあさんコーラスを通じていろいろな合唱の楽しさに目覚めました。全国大会は、会場の空気がとても素晴らしいです。今回は万葉集を題材にした緊張感のある曲を演奏しましたが、歌い終えたときはぴんと張りつめた静けさに包まれました。宝塚ばりの華やかな演出には立ち上がってやんやの喝采、平均年齢76歳の合唱団が、真っ赤なドレスで美空ひばりのお祭りマンボをばっちり決めると、それは温かい大きな拍手が湧き起ります。アイデアいっぱいの多彩な合唱を心から楽しみ、聞きあう様子に励まされ、改めて合唱っていいなあと思いました。誘導の方もとても親切で、行き届いた運営に感謝の一日でした。

(記：青山道代さん)

★ラ・カンパネラ



私達は、創立20周年を迎え、全国大会は18年振り2度目の出場です。どの団も、県、支部大会と積み重ね、育んできた力をこの最終ステージに懸ける！！音楽性、パフォーマンス、豊かな個性。大会というより、正に、楽しさ弾けるフェスティバルです。長年歌い続けていらっしゃる先輩方のお姿にパワーを頂き、更衣室で、他団の方に、頑張って!!と拍手で見送って頂いた事、お客様の心地良い反応、スタッフの方々の「お疲れ様でした」の笑顔のシャワー！みんなの心が一つに繋がり、幸せと感動、感謝の気持ちでいっぱい。夢のような一日でした。

(記：森川法子さん)

2013年4月20日(土)、第36回全日本おかあさんコーラス神奈川県大会が神奈川県立音楽堂で開催されます。今年全国大会出場した5団体が招待演奏で出場、凱旋演奏を行う予定です。素晴らしい演奏でしょう。ぜひ聴きにいらしてください。

そして、女声合唱団の皆様、**おかあさんコーラス大会神奈川県大会に出場参加しませんか。**全国大会までの道のりは長く、平たんではありませんが、それゆえに得られる素晴らしい体験が待っています。参加要項等詳しくは神奈川県合唱連盟事務局にお問い合わせください。お待ちしております。

(カノン編集委員：渋谷直美)



杉山範雄の私的趣味の部屋

♪ 第三回 ♪

～電子楽器の起源～

普段、何気なく弾いたり聴いたりしているピアノ…。ピアノフォルテや、ハンマークラヴィアとも言われますが、現在のピアノの鍵盤数が全部で88鍵あることは良く知られていることです（知らなかった方は数えてみて下さい）。

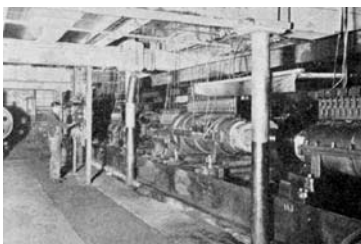
しかし、時代によって鍵盤数が違うということは、あまり知られていないかも知れません。

ピアノは1700年頃、イタリアのバルトロメオ・クリストフォリにより発明され、音域は、発明当初およそ4オクターブ（50鍵）で、徐々に拡大していきました。モーツァルト（1756-1791）の作曲したピアノ曲は、約5オクターブ（67鍵）の楽器のために書かれており、ベートーベン（1770-1827）のピアノ曲は、当時の音域の増加に反映していて、最末期のピアノ曲は約6オクターブの楽器のために書かれています。なお、19世紀以降のモダンピアノから、今と同じ約7オクターブ（88）になりました。

さて、皆さんが音出し、音取りなどで良く使用する電気的な信号によって音を出す「キーボード」「シンセサイザー」といった電子楽器は、いつ頃誕生したのでしょうか？

史上初の実用化された本格的な電子楽器は1897年に米国の発明家サディウス・ケイヒルが特許を取得し1906年に一般公開したテルハーモニウム、別名ダイナモフォンとされています。

重さ200トン。ビル1軒ほどの大きさ。改造された巨大なダイナモ（自転車のタイヤにつける発電機）を145個つなげて電波を発生させ、それを合成して音色をつくる…という大掛かりな仕組みです。さてここで問題。そうやって作った電子音を、どうやって鳴らしたのでしょうか？「電気音ならスピーカーから出す」と普通は思いますが、時は1897年、真空管が1906年に発明されるまで、電気は増幅する事ができなかったのです。つまり「アンプ」というものがまだなかったのです。そしてスピーカーは、アンプ無しでは鳴らないのです。スピーカーの原理自体は1877年に特許がとられていたようですが、当時はまだ机上の空論だったのです。ちなみに現在私たちが主流で使っているダイナミック型スピーカーが発明されたのは1925年。これの発明者がケロッグ博士ということもあり知られてないことです（コーンフレイクを発明した人）。ではスピーカーの無い時代、この楽器の音を聴かせるためにケーヒル氏が何を使ったかという、答は「電話」。1876年に発明された電話は当時、最先端の音響テクノロジーで、これを使わ



ない手はなかったのです。結局、テルハーモニウムの演奏は各家庭の電話で鑑賞されたというわけです。今日で言うストリーミング放送のようなイメージですが、なにしろ電話、それも100年前の電話ですから、音は相当貧弱なものだったと推測されます（笑）莫大な費用や手間のかかるこの「楽器」、数年後にはあっさりと歴史の闇に消えていきました。

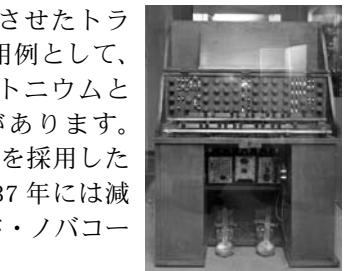
一般に広く認知された最初の電子楽器は1917～1919年ごろにソ連の発明家レフ・テルミン教授によって発明されたテルミンと言われるもの。これはアンテナ間の静電容量を手で遮ることによって調整し、その変化をヘテロダイン方式と言われる方法で音に変えて演奏するそうです。これとほぼ同時期、光学式（映画に似た原理）で音と映像を同時生成するパフォーマンス用楽器「オプトフォニック・ピアノ」が未来派画家ウラジミール・ロッシーネにより開発され、これとよく似た光学式（サウンド・トラックに類似した原理）の楽器が1930年代前後にフランス、ソ連、アメリカ、ドイツ等で次々と開発され、1928年オンド・マルトノという電子楽器がフランスのモーリス・マルトノによって発明されました。



これはテルミンと同様に単音で奏される楽器のようですが、音程は糸（リボン）によりコントロールします。この楽器は、トーン・フィルターで正弦波を加工することで作った音を、弦、シンバル等の様々な加工を施したスピーカーから出力します。オリヴィエ・メシアンの「トゥランガリーラ交響曲」の中で使われ、現在でもしばしば演奏されます。1930年には、フリードリッヒ・トラウトバインがテルミンやマルトノをさらに進化させたトラウトニウムを開発し、使用例として、ヒンデミットの「トラウトニウムと弦楽の為の協奏曲」等があります。1934年には倍音加算合成を採用したハモンド・オルガン、1937年には減算合成を採用したハモンド・ノバコードが開発されます。



戦前の日本においても、これらの動向から隔絶されていたわけではなく、宮城道雄の発明による八十絃にアンプを付ける試み（1929年）や、長唄奏者の四世杵屋佐吉（本名・武藤良二）と楽器製作師の石田一治の共同製作による三味線をマイクロフォンとアンプで増幅する電子楽器「咸絃（かんげん）」の製作（1931年）等が挙げられます。ピアノフォルテが音楽の進化によって発展を遂げていたように、電子楽器においては、テクノロジーの進歩に同調して発展していったわけです。



（記事：声楽家・合唱指揮者 杉山範雄）

カトウ先生の『合唱基礎のキソ』

♪第3回♪ ～楽譜の作り方～

今回は楽譜の作り方について考えてみましょう。作り方といっても作曲技法の話ではありません。練習中に説明や注意をされたり、自分なりに気付いたことを、どのように楽譜に反映させていくか、というお話です。

1. 練習には必ず筆記用具をもって参加しよう！

まず一番大切なことは、『練習に臨む時には必ず筆記用具を持ちましょう』ということです。

楽譜に書いてあるから見たら分かる、説明や注意も聞いたから分かると思いがちですが、それだけでいい演奏ができるようにはなりませんよね？

「分かった」と思っている書き込んでおくことはとても重要です。何日ぶりにその曲を練習する時でも、楽譜を開いた瞬間に以前の注意点を思い出すことができます。

後から復習をして楽譜を整理し直すタイプの方は黒一色でも良いと思いますが、分かりやすく書き込みをするためには三色くらいは色別で書けるものを持っていると良いかも知れません。今は消せるボールペンもありますので、間違えてしまったり後から指示が変わった時にも修正できてお勧めです。

2. 楽譜に記入をする時のポイント

楽譜には最初からいろいろなことが書かれています。旋律と歌詞はもちろんですが、曲の強弱、さまざまな表情記号などです。

それに加えて、練習中に指摘されたこと、曲の背景や歌い方について説明されたことなどを記入していきますので、できるだけ「一目で分かりやすい書き方」をするのが良いでしょう。

言葉で書き込んだ方が見やすい場合と、記号などで簡略化の方が良い場合があります。例をあげてみますので、記号や書き方は自分なりに見やすいものに読み換えてみて下さい。

- ・音程が高い／低いと注意されたところ
- ・音が取り切れていないところ
- ・曲の流れ、強弱などで気をつけるところ

注意された音に丸をつける、高い／低いは音符の横に矢印を入れる。特に何回も指摘される難しいところには、「一つ前の音から高く跳ぶ」「半音を広く下りすぎない」など言葉で書き足しておくが良いでしょう。

音程を注意された時は赤

曲の流れや、強弱・歌い方の記号を強調するには青
曲や歌詞の説明や具体的な指摘を書くには黒

など、決めた色を使って分かりやすい楽譜を作ってみましょう。あまり色数が多すぎても目がちらつきますので、三色以内がお勧めです。

・歌詞の発音、発語で注意されたところ

もっと歌った方がよい言葉には○印などを付け、語尾が強すぎると言われたらその歌詞に斜線を入れる。平仮名で書かれているため意味の取りにくい場所があったら、漢字に直して書きくわえておきましょう。

外国語の歌詞の場合、次の音符の直前に子音を入れる、音を長く伸ばして最後の音符に子音を入れる場合などがありますが、そういう時も忘れないように楽譜に書き足しておきます。

3. 楽譜を持って歌う時に気をつけること

- ・指揮がよく見えるように持つこと
- ・歌う姿勢を崩さないように持つこと

この二つが大切です。

胸が圧迫されるので脇を締めすぎず、少しだけ開けるようにします。楽譜を立てて持つと口元が隠れて息の流れを阻害しますし、指揮が見えなくなりますので、なるべく平らに持って下さい。楽譜が見えにくい時は手の高さで調節します。首が下を向かない高さにホールドしましょう。

正しい姿勢で歌うために、譜面台を活用して楽譜を持たずに歌うというのでもいい方法です。ただし、本番も譜持ちで歌うのなら、普段の練習から正しく楽譜を持って歌えるようにしておくべきです。

指揮者の指示に素早く反応するために、楽譜にかじりつかないようにしましょう。

歌っている部分の2～3小節先まで見通しながら歌うようにします。段やページの切り替わり部分は、早目に覚えるようにしましょう。

特にページの切り替わりで音量や歌い方が急に変わる場合は、めくる前のページに「次はフォルテ」など書き込んでおくのと良いですね。

楽譜はあなたの勉強の証、大切なノートです。

分かりやすく見やすい楽譜を作って、練習の成果をしっかり発揮できるようにしていきましょう。

(記事：声楽家・合唱指揮者 加藤雅子)

カノンコンサートガイド

(お知らせ)

主催者の都合により、コンサート日程、内容等が変更となる場合がありますので、詳細につきましては各コンサートのお問合せ先にご確認ください。

10/30 (火)	男声コーラス‘ひよこ’ 創立 10 周年記念コンサート 13:30 ~ 横浜市旭区民文化センター サンハート 音楽ホール 入場料: 無料 (全席自由) お問合せ: 奥山 046-232-3154 okuyamakin@jcom.home.ne.jp 合唱初経験時代から今日まで、楽しく歌い続けた約 20 曲を演奏。指揮: 磯村・梅原、ピアノ: 安達
11/1 (木)	女声合唱団フライズィン きまにフライズィン演奏会 14:00 ~ 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料: 無料 お問合せ: 加藤 090-2144-5145 freisinn@m6.gyao.ne.jp N.Telfer「Missa Brevis」、信長貴富「風の季節・花の季節」、「7つの子どもの歌」より、他
11/4 (日)	湘南男声合唱団 25 周年記念演奏会 14:00 ~ 藤沢市民会館 大ホール 入場料: 1,000 円 (全席自由) お問合せ: 渡邊 0466-43-4093 http://www.kogatec.com/shonandansei/ 大震災により中止した第6回演奏会から1年半、プログラムを一新し創立 25 周年記念演奏会として行います。
11/4 (日)	小田原医師会合唱団 第4回定期演奏会 14:00 ~ 小田原市民会館 大ホール 入場料: 1,000 円 (全席自由) お問合せ: 亀井 0465-24-2296 「ウエストサイド物語」、「あなたにあいたくて生まれてきた詩」他 指揮: 山田浩子 ピアノ: 田端ゆみ
11/10 (土)	コール・リリカ 第7回定期演奏会 14:00 ~ 神奈川県立音楽堂 入場料: 1,000 円 お問合せ: 大場 045-333-7766 「星野富弘作品集」「みずゝの世界」「モーツァルトの百面相」など。指揮: 福田美知子 ピアノ: 橋本麻子
11/10 (土)	梶ヶ谷女声コーラス 第6回定期演奏会 14:00 ~ フィリアホール 入場料: 1,000 円 (全席自由) お問合せ: 天明 044-888-0195 「ハレルヤ」「O Salutaris」他 萩原英彦「新 抒情三章」小林秀雄「落葉松」 指揮: 横山和彦

11/11 (日)	横浜オラトリオ協会合唱団 第76回定期演奏会 14:00～ 神奈川県立音楽堂 入場料:1,500円 (全席自由) お問合せ:山田 080-1012-6183 ドボルザーク「ミサ」、ラター「グロリア」をオケ伴奏。武満徹「『うた』より」をアカペラ。指揮:星野聡
11/13 (火)	横浜グローリア女声合唱団 第8回演奏会 18:30～ 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料:1,500円 (全席自由) お問合せ:比企野 045-822-6667 清水 045-433-5913 指揮:岸信介、ピアノ:由良郁子 千原英喜「みやこわすれ」福島雄次郎「南島唄遊び」新実徳英「やさしい魚」他
11/21 (水)	上大岡混声合唱団 第46回定期演奏会 18:30～ 神奈川県立音楽堂 入場料:1,000円 お問合せ:事務局 045-654-7083 http://www.geocities.jp/kami_kon/ 林光「岩手軽便鉄道の一月」「叙情歌集」オーケストラ伴奏でフォーレ「レクイエム」を演奏いたします。
11/22 (木)	神奈川県庁合唱団 第37回サロンコンサート 19:00～ 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料:1,000円 (全席自由) お問合せ:上杉 090-4139-5882 uesugi@snow.plala.or.jp http://gasshobu.jimdo.com/ ミュージカル「ミスサイゴン」、北川昇作曲「まだ見ぬあなたへ」など多彩な曲を演奏します
11/23 (金・祝)	横浜YMCA混声合唱団 第51回定期演奏会 18:00～ 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料:大人1,000円 高校生以下500円 (全席自由) お問合せ:鈴木 045-252-7703 http://ycon.web.fc2.com/ アベマリア特集、長森かおる作曲「無言館」、萩原英彦作曲「光る砂漠」他 指揮:望月裕央 穴戸純
11/24 (土)	横浜並木男声合唱団 第8回定期演奏会 13:30～ 横浜みなとみらいホール 大ホール 入場料:1,500円 (全席指定) 指定席券交換11時より お問合せ:稲村 045-771-5649 指揮:吉田千鶴子、ピアノ:白居易 / 金井信、廣瀬量平作曲男声合唱組曲「北の海鳥」、学園天国、狙いうち他
11/25 (日)	横浜混声合唱団 「三三七拍子合唱コンサート②」 テーマ:横浜音楽散歩シリーズ② 14:00～ 横浜市民文化会館 関内ホール 大ホール 入場料:2,000円 当日券あり お問合せ:こんの 045-752-5915 (Tel&Fax) http://yokokon.jimdo.com/ 野口雨情作品と池辺晋一郎(作曲) / 金井信(ピアノ) を迎え池辺作品 指揮:吉田孝古麿、ピアノ:須江太郎
11/25 (日)	Asian Winds Winter Concert 2012 14:00～ 川崎市総合福祉センター エポックなかはら ホール 入場料:無料 お問合せ: https://sites.google.com/site/asianwinds2010/home 上田真樹「あらしのよるに」信長貴富「恋ものがたり」より他 指揮:中館伸一、ピアノ:中館彩子

12/2 (日)	コールミント 4thコンサート 14:00 ~ 神奈川県立音楽堂 入場料:1,000 円 (全席自由) お問合せ:青木 045-833-5908 chormint@yahoo.co.jp http://callmint.web.fc2.com/ 萩原英彦「光る砂漠」 プリテン「キャロルの祭典」他 指揮:福田美知子 ピアノ:橋本麻子
12/8 (土)	ヌオーヴァ女声合唱団 ヌオーヴァ合唱コンサート 13 14:00 ~ 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料:1,500 円 お問合せ:大参 045-772-3434 (Tel&Fax) 吉岡弘行「あしたの灯」、G.Orban「Mass No.6」他 指揮:吉田孝古磨、土居規子、ピアノ:平林留貴子
12/11 (火)	アンサンブル・プリュサン Ensemble Plus Un Concert 2012「サンタも気になるコンサート」 18:30 ~ 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料:2,000 円 (全席自由) お問合せ:田中 045-821-6739 (Tel&Fax) 金井信「Ave Maria」、Bob Chilcott「Jazz Mass」他 クリスマスソングが満載
12/12 (水)	女声合唱団「滄溟」 第9回演奏会 19:00 ~ 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料:1,500 円 (全席自由) お問合せ:湯川 046-242-2441 (Tel&Fax) http://sites.google.com/site/soumeichorus/ 委嘱初演曲 / 松本望、五つの詩曲 / 三善晃、約束 / 瑞慶覧尚子、さくらんぼの実る頃 / 寺嶋陸也編曲 等を演奏
12/16 (日)	アンサンブルKATOO 第8回定期演奏会 14:00 ~ 鶴見区民文化センター サルビアホール ※開演時間は変更となる場合があります。 入場料:無料 お問合せ:小田 080-4207-7684 hidoda@gmail.com http://sound.jp/ekt/ 今年のアンサンブル KATOO は、私達なりの「日本」を歌いあげます! 吉岡弘行作曲「あしたの灯」他
12/18 (火)	女声合唱団コーロフェリーチェ 第4回定期演奏会 ~ N oi siamo Felice 私達はしあわせ~ 14:00 ~ 神奈川区民文化センター かなつくホール 入場料:1,000 円 (全席自由) お問合せ:夏目 045-491-7277 (Tel&Fax) 指揮:夏目張安、ピアノ:木田和美 南海譜、機織る星、ラインベルガー、スイートメモリー他
1/26 (土)	Choir Nuts Choir Nuts Concert 19:00 ~ 栄区民文化センター リリスホール 入場料:未定 お問合せ:松崎 080-2337-5546 choirnuts@docomo.ne.jp シュガー「Szüret Után」、ジブリ作品集、シュミット「よい声で」、新実徳英「鳥が」 指揮:高橋智子

第36回 神奈川県合唱フェスティバル開催のお知らせ

フェスティバルってお祭りだよ！
みんな歌が好き、歌う仲間が増えればもっと楽しい・・・だったら、
みんなで仲良くなれるコンサートを作りませんか？

テーマ「元気になれる歌 Vol.1」

- ・開催日：2013年2月11日（月・祝）13：00 開演予定
10：00～12：00 出演者による交流タイム&リハーサル
13：00～16：30 合唱団ごとの演奏&即席合唱団演奏
- ・会場：神奈川県立音楽堂（木のホール）
- ・主催：神奈川県合唱連盟（共催：神奈川県／神奈川県立音楽堂）
- ・出演団体：約15団体（予定）
- ・演奏時間：第Ⅰ部 各団の演奏&PRで5分以内
第Ⅱ部 即席合唱団オンステージ 公開練習も含めて各々15分程度
- ・参加費：県連加盟団体 団体参加費2,000円 + 個人参加費1,000円
県連非加盟団体 団体参加費5,000円 + 個人参加費1,000円
個人参加（即席合唱団オンステージのみに参加）個人参加費1,000円
- ・即席合唱団用の楽譜（いずれもコピーは不可）
 - ・全員合唱で連盟歌「朝の光に」（楽譜は県連でご用意致します）
 - ・混声合唱に参加希望の方は、武満 徹「小さな空」
 - ・女声合唱に参加希望の方は、中田喜直「忘れなぐさ」
 - ・男声合唱に参加希望の方は、グラナハム「いざ起て戦人よ」
 - ・ジュニア・中学／高校（女声）に参加希望の方は、新実徳英「未来」

※ 参加要項は9月に発送いたしました。

第15回 かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト

参加募集のお知らせ

- ・と き：2013年3月10日（日）10：30 開演予定
- ・と ころ：神奈川県立音楽堂
- ・主 催：神奈川県合唱連盟
- ・編 成：2名以上20名以下の小編成ヴォーカルアンサンブル（ソリストを含む）
- ・演 奏：2声部以上で演奏されるア・カペラの声楽曲
- ・部 門：コンテスト部門（混声、女声、ジュニア、男声、シニア）
（注）フェスティバル部門は「廃止」いたしました。（ご注意下さい）
- ・演奏時間：部門別審査 7分以内 総合審査 5分以内（部門別と異なる曲目）
- ・審査員：金川 明裕 田中 登志生 長谷川 牙子（五十音順・敬称略）
- ・団体数：合計43団体〔所定団体数を超える応募があった場合は、抽選を行います〕
- ・申込み期限：2012年12月初旬 締め切り
- ・参加費：（1）団体参加費：加盟団体 1団体 6,000円
非加盟団体 1団体 12,000円
（2）個人参加費：1,500円（18歳以下900円）×人数
- ・入場料：1,000円（18歳以下無料）

※ 詳細は11月に発行予定の参加要項をご覧ください。上記の内容は変更になる場合もあります。

※ 神奈川県合唱連盟非加盟団体の方でご希望がありましたら参加要項をお送りします。神奈川県合唱連盟までお問合せ下さい。

創立20周年記念 横浜シティ合唱団第13回定期演奏会

Giuseppe Verdi *MESSA DA REQUIEM*

★日時：2013年1月11日（金）19:00 開演 18:30 開場
★場所：みなとみらいホール 大ホール

鷗木絵里（ソプラノ） 布施奈緒子（メゾ・ソプラノ） 志田雄啓（テノール） 伊藤 純（バス）

横浜シティ合唱団
神奈川フィルハーモニー管弦楽団
青木洋也 指揮

チケット 全席指定 S席：¥4,000 A席：¥3,000 B席：¥2,000 9/3より発売
取り扱い 横浜みなとみらいホールチケットセンター 045-682-2000
チケットぴあ 0570-02-9999 Pコード 175-098
お問合せ 横浜シティ合唱団事務局 武井 045-572-3018 090-7410-3254
主 催 横浜シティ合唱団



Verbascum phoeniceum L.

広告御希望の方は、最終ページの「コンサートガイド掲載要綱」をご覧ください。

—— 県連からのお知らせ ——

<東日本大震災に伴う義援金募集について>

昨年の総会でも通知いたしました通り、神奈川県合唱連盟は東日本大震災の被災地及び被災された方々への支援の一環として、昨年4月以降の県連各行事における募金の呼びかけを行いました。同時に、神奈川県合唱連盟が窓口となり、各団体個人からの義援金の受付も実施いたしました。その結果多数の団体、個人の皆様より暖かいご支援を頂きました。この場を借りて御礼を申し上げます。

いただきました義援金につきましては、少しでも早く現地で活用していただこうと、現在までに2011/5/24、6/29、8/31、9/28、2012/2/17の5回、朝日新聞厚生文化事業団に寄託いたしました(1,952,917円)。また今年度からは全日本合唱連盟の「被災地の合唱活動復興のための義援金」に寄託することになり、2012/9/7に第2回目の寄託を行いました(11,250円)。今後とも継続して募集しておりますので、合唱連盟経由での寄付をご希望される団体、個人の方は引き続き以下の口座までお届けいただきますよう、よろしくお願いいたします。

【郵便振込】口座記号：00200-8-100874 加入者名：神奈川県合唱連盟

※領収書の発行はできません。また義援金への募金は税法上の寄付控除の対象とはなりませんのでご注意ください。

☆コンサートガイド掲載要綱☆

神奈川県合唱連盟に所属していれば、この「カノン」にコンサートのお知らせを掲載することができます。掲載方法は「無料掲載」と「有料掲載」があります。それぞれ、必要事項を記したものを郵送かFAXまたはe-mailにて編集室までお申し込みください。ただし、無料掲載は1演奏会につき一度だけとさせていただきます。なお、有料掲載と無料掲載の両方を希望する場合は、それぞれ個別にお申し込みください。

また有料掲載につきましては、神奈川県合唱連盟に所属していない団体からも掲載を受け付けることが可能です。その場合の料金に関しては、下記掲載料の倍額とさせていただきます。

1 無料掲載：①合唱団名 ②演奏会名称 ③開催日時 ④会場 ⑤入場料等 ⑥問い合わせ連絡先(Tel/Fax/e-mail/HPの記載可) ⑦コメント(50字以内)を掲載いたします。下記申込書に記入後、メール、FAXで事務局までお申し込み下さい。

2 有料掲載：1/8号 2,500円(1/4号 5,000円、1/2号 10,000円、1号 20,000円)での有料掲載を行います。内容は基本的に自由ですが、事務局がカノンに掲載することがふさわしくないと判断したものについてはお断りすることがあります。希望するサイズでの出力見本(手書き可)をメール、FAX等で送っていただき、各合唱団が作成した原稿をそのまま掲載するか、原稿案を元に事務局で作成いたします。

※カノン発行月と原稿締め切りの予定：春号 4月10日発行予定(〆切：3月10日) 夏号 7月10日発行予定(〆切：6月10日)
秋号 10月10日発行予定(〆切：9月10日) 冬号 1月10日発行予定(〆切：12月10日)

コンサートガイド無料掲載申込書

①合唱団名															
②演奏会名称															
③開催日時															
④会場															
⑤入場料等															
⑥問い合わせ連絡先															
⑦コメント (条件：全角50字以内、句読点は1文字換算、数字アルファベットは原則半角)															

神奈川県合唱連盟 情報誌「Kanon(カノン)」

編集・発行 神奈川県合唱連盟・カノン編集委員会
発行責任者 松村 努 編集責任者 栗林 宏至

神奈川県合唱連盟・事務局

〒231-0021

横浜市中区日本大通 15 横浜朝日会館 4 階

TEL：045-681-6033 FAX：045-662-5119

スタッフ常駐・平日：月火木金(休祝日を除く) 12:00～16:00

URL <http://kanagawakenren.la.coocan.jp/>

e-mail アドレス kanagawakenren@nifty.com

